

開講学科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス			
科目名	文化人類学	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		2・3年次	選択	11000602	
担当教員	志村真幸	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期	水曜日	1時限
授業の教育目的・目標	広範な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養をはかるとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。				
学科の学習・教育目標との関係	大学生として必要な教養と倫理観を身に付ける。				
キーワード	民族、民俗、多文化、多様性、グローバリゼーション、環境				
授業の概要	①文化人類学やフィールドワークという学問の手法と歴史について概説した上で、19世紀から現在に至る諸民族の問題について、文化相対主義・多文化主義の観点からとりあげる。②現代世界におけるグローバリゼーションがひとびとに及ぼしている影響について、各地の例を解説する。③科学・技術、スポーツ、医療・生命、衣食住の民族について実例を挙げつつ講義する。				
授業の計画	第1回：文化人類学とは何か 第2回：文化人類学の方法 第3回：食とタブー 第4回：衣の民族学 第5回：住まいと家族 第6回：民族性・国民性と心理 第7回：グローバリゼーションと変わりゆく文化 第8回：科学・技術 第9回：医療人類学（原始医療、少子化、生と死） 第10回：環境と公害と先住民問題 第11回：スポーツと遊び 第12回：宗教と動物（靈魂と慰霊） 第13回：フィールドワークとは何か 第14回：フィールドワーク 第15回：文化人類学のこれから				
受講条件・関連科目	なし				
授業方法	講義＋1、2回のワークショップ				
テキスト・参考書	参考書：『人類学のコモンセンス』（浜本満・浜本まり子編、学術図書出版社）、『文化人類学のレッスン』（奥野克巳・花渕馨也編、学陽書房）。そのほか授業内で指示する。				
成績評価	・授業内提出物：ワークショップ提出物、小テスト（50%） ・レポート（50%）				
履修上の注意					